

学校関係者評価委員会&経営方針案説明を実施しました

○平成29年度学校評価結果の説明《学校関係者評価委員会》

伊達西小・光陵中の両教頭から、今年度の学校評価の集約結果及び分析による成果と課題を委員の皆様へ説明しました。

〈委員の皆様からのご意見〉

- ・教職員の評価結果では、自身の取組を厳しい目で評価している。その中で子どもたちがしっかり育っていることをうかがわせる様子が子どもたちの評価結果に見られている。
- ・授業参観等で保護者や地域の方々が学校へ足を運ぶことが「地域に守られている」という子どもたちの実感につながっていく。より多くの機会をつくっていきたい。

両校の説明内容に対し、委員の皆様から理解を得られ、全体を通して肯定的に受け取られました。

○平成30年度学校経営方針案の説明

伊達西小・光陵中の両校長から、次年度の学校経営方針案について、経営の重点や具体的な方策等を中心に、今年度からの変更点も含めながら説明しました（右図参照）。

両校の説明内容は委員の皆様におおむね肯定的に受け取られ、両校の経営方針案を了承していくことが確認されました。

○伊達西小学校の教育活動にかかわって

①「世代交流」の実施について

前回会議で協力要請した「世代交流」を運営協議会の支援を受けて実施できた報告が伊達西小教頭からありました。

②プールの管理運営について

前回会議での提案を受け、伊達市教育委員会の三浦学校教育課長と上山企画総務係長から今後の方向性について、「維持管理は業務委託による実施を考えており、学校の負担解消に向け、市として動いている」との説明がありました。委員もこの説明を了承しました。

プールの開放については、学校の負担軽減や解消に向けた取組について運営協議会での検討を望む声がありました。

今回の合同会議では、次年度の学校経営方針や学校運営に対するご意見などをいただきました。今後、そのご意見を取り入れて経営方針を再考し、新年度体制で推進できるよう、伊達西小学校・光陵中学校で準備を進めていきます。

終わりに、今年度の両校の学校運営に対し感謝を申し上げ、次年度も変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

〈伊達西小学校 学校経営方針案〉

6 経営の重点と具体策

重点1 確かな学力の育成

- 〈具体策1〉担任がついて取り組む朝学習の充実
- 〈具体策2〉主体的・対話的で深い学びへの授業改善とそれを支える校内研修
- 〈具体策3〉**新学習指導要領完全実施に向けての移行期の確実な対応**
- 〈具体策4〉教科指導における指導体制や指導形態の工夫

重点2 豊かな心の育成

- 〈具体策1〉道徳科の対応と道徳教育の充実
- 〈具体策2〉ハーモニータイムと読書活動の充実
- 〈具体策3〉子どもの心に響く生徒指導の充実
- 〈具体策4〉あいさつの習慣化にむけての強化

重点3 健やかな体の育成

- 〈具体策1〉体力・運動能力の向上を図る取組の充実
- 〈具体策2〉食育の推進
- 〈具体策3〉健康教育の充実と**基本的な生活習慣の意識化**

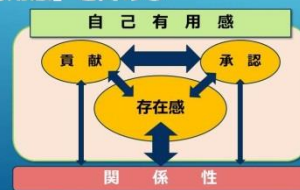
〈光陵中小学校 学校経営方針案〉

平成30年度の重点目標(案)

自ら学び、主体的に判断し行動する生徒の育成
～「集団づくり」と「授業づくり」をとおして、社会人として自立する上での基礎基本を身に付けさせる～

重点目標に迫る考え方I

「自己有用感」を高める



重点目標に迫る考え方II

「居場所」と「絆」をつくる

- ① 居場所づくり
 - ア 思いやりのある学級集団に
 - イ 授業が最大の居場所に
- ② 絆づくり
 - ア 適度な課題
 - イ 主体は生徒たち、教師は黒子

重点目標に迫る考え方III

「集中力」を身に付けさせる

- ① 時間をコントロールする力
- ② スケジュール管理や計画性
- ③ 見通しをもって計画的に取り組む力

↓
集中力